

がっこう 動物新聞

2017年 第4号 (通算第13号)

共同発行

一般社団法人 日本小動物獣医師会

公益社団法人



休日の世話のこと



動物が学校にいますと、毎日のお世話がありますね。一日1回か2回、掃除をしたりえさをあげたり、なでたり抱っこしたりする時間があります。ウンチやおしこの始末は大変ですが、動物たちがえさをしっかり食べてくれたり、きれいになったお部屋で気持ちよさそうにしていたり、しばらくおひざでじっとしてくれたり、楽しくほっとする時間ですね。

皆さんが学校へ行く日は、こんな毎日がくり返されますが、「学校がお休みの日はどうするの?」という心配をしたことのある人は多いと思います。そこで、休日のお世話をしている学校を紹介しながら、皆さんのクラスや学校にあったやり方を一緒に考えていきましょう。

ケース1

飼育舎の場合 (ウサギやチャボなど)

～おうちの人と一緒に世話に登校する～

- 1 保護者会で、休日の飼育方法の説明をする。
- 2 学校のお休みに合わせて、参加する家族を調整する。
- 3 集合時間、お世話の方法など、あらかじめ相談し伝えておく。
- 4 ふだんのお世話と同じように飼育日誌をつけてもらう。



ケース2

教室内飼育の場合 (モルモットやハムスターなど)

～おうちに連れて帰るホームステイ～

- 1 事前に保護者説明会を開き、家庭に持ち帰るさいの注意について理解を得る。
- 2 学校のお休みに合わせて、担当する家庭を決める。
- 3 学校へ迎えに来る時間、また戻す時間、および場所などを決める。
- 4 飼育日誌のように、ホームステイの記録をつける。



保谷第2小インタビュー 2016.7.17

- 子どもが、飼育で何をしているのか直接見ることが出来て良かった。
- もっとふざけてやっているのかと思っていたが、真面目にやっていておどろいた。(ここで子どもが、「だって真面目にやらないと死んじゃうじゃん」と言いました)
- 動物を家では飼えないので、この活動はありがたい。
- 子どもたちは、大人が掃除する時のように、ゴミをちりとりを集め袋に入れる時にも、袋をちゃんと開けておかなければならないなど、おたがい注意しながらやっていた。
- 野菜を切る時にも、ニワトリ用の大きさ、ウサギ用の大きさと、注意して切り分けていた。

学校飼育を見た保護者にインタビューしました。

獣医師会は、学校の動物飼育を応援しています。学校で飼育している動物のことならどんなことでも近くの獣医師会にご相談ください。